

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	1	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 2 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	下町橋
施設の所在地	富士見三丁目 2570 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.16		幅員(車道幅員)	12.96
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和 5 年 12 月	
	調査結果	PC 桁に橋軸方向にひびわれが発生している。前回点検時より注入工により補修工事を行った形跡があるが再劣化や新たなひびわれが確認できる。 全主桁 19 本に対しひびわれが発生している桁は 5.6 本程度であり判定は C1 とするが、状況から明らかにひびわれは進行していると考えられ材料劣化の疑いもあるため詳細調査の実施を含め対応が必要である。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)		0.5					0.5			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 平成29年度補修

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	2	道路台帳索引番号	O-24	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 4 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	大坪橋
施設の所在地	若宮二丁目 1160 番地 9 先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年度	1976	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.8		幅員(車道幅員)	13.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	主桁(PCホロー桁)の軸方向のひびわれは補修済である。 間詰からの漏水・遊離石灰が多く見られることや舗装(歩道)に損傷が多くみられることから舗装打換えの実施が望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 令和3年度補修

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	3	道路台帳索引番号	P-25	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 6 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	富士見下橋
施設の所在地	富士見二丁目 1855 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.9		幅員(車道幅員)	6.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月	
	調査結果	橋台 (A1、A2) に 1.0mm を超えるひびわれが確認されていることから、速やかに補修を行なうことが望ましい。 防護柵のボルトナットにゆるみ・脱落がみられていることや舗装にひびわれが多く見られることから維持工事等での対策が望ましい。また、主桁・横桁や支承には腐食が確認されていることから、状況に応じて伸縮装置の非排水化とともに塗装の塗替えが望ましい。A1 橋台の G1 支承に土砂堆積が見られる維持工事等の対策が必要である。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	4	道路台帳索引番号	Q-24,25	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 6 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	更科橋
施設の所在地	富士見二丁目 1804 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1972
供用年度	1972	種別	PC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	塩川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	145.0		幅員(車道幅員)	7.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	鉄筋コンクリート逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	主桁や横桁の損傷は補修済であるが、まだ、主桁にひびわれや剥離・鉄筋露出が多数見られることや定着部にうきが見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 床版にすす汚れや落書きが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 支承に土砂詰まりが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 排水管取り付け金具が腐食により破断していることから、維持工事での対応が望ましい。 防護柵のボルトナットが脱落していることから、維持工事での対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)		15	15.5					0.5		
対策の内容・実施時期		補修工事	補修点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 令和5年度より補修工事

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	5	道路台帳索引番号	Q-24,25	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 6 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	岩下前田橋
施設の所在地	荊崎町岩下 1333 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.8		幅員(車道幅員)	4.7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	床版の広範囲に豆板や剥離・鉄筋露出等が確認されていることから、予防保全の観点から速やかに補修を行なうことが望ましい。 舗装に5mm以上の蜘蛛の巣上のひびわれが多く見られること、地覆付近に土砂が堆積していることから、維持工事による対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	補修
	実施予定時期	令和 12 年度から
	対策費用 (百万円:概算)	30

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5		30			0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検		補修			定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	6	道路台帳索引番号	R-24	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 6 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	楯無堰 1 号橋
施設の所在地	荊崎町上ノ山 1008 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	BOX	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	7.5
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	舗装に生じているひびわれは、やや進行しているため経過観察していく中で、損傷進行が確認された場合は早期に補修する必要がある。 頂板、及び底板には目立った損傷もなく健全な状況である。 側壁においてはハンチの下側にカルバート全体に渡った微細なひびわれが確認される。現状では軽微なため経過観察とする。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	7	道路台帳索引番号	P-20	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	権現沢橋
施設の所在地	宮久保字寺平 1718 番地先	起点からの距離		建設年度	1997
供用年度	1997	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A活荷	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.6		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	舗装にひびわれや段差、土砂堆積が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 主桁間詰からの漏水・遊離石灰がみられるため状況に応じて補修が望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	8	道路台帳索引番号	P-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	馬背川 1 号橋
施設の所在地	宮久保字権現沢 2082 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	馬背沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.8		幅員(車道幅員)	5.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	舗装にひびわれや土砂の堆積がみられることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、床版や橋台、地覆に損傷が見られるが、状況に応じて補修することが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	9	道路台帳索引番号	P-18	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	穂坂 1-1 号橋
施設の所在地	宮久保字上野原 2285 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.4		幅員(車道幅員)	7.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	床版の広範囲に剥離・鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装には5mm以上のひびわれや土砂堆積が見られることから維持工事での対応が望ましい。 その他、橋台等に損傷がみられるため、状況に応じて補修を行うことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	10	道路台帳索引番号	Y-17	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 3 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	下新居下橋
施設の所在地	上今井字新井 1076 番地 4 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	燕沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6		幅員(車道幅員)	7.4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月	
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 舗装に 5mm 以上のひびわれや土砂堆積が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、主桁や床版、橋台に軽微な損傷が見られることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	11	道路台帳索引番号	N-20	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	藤井橋
施設の所在地	南下条字山影 538 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	1983
供用年度	1983	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.5		幅員(車道幅員)	12.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 12 月	
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他軽微な損傷がみられるため状況に応じて補修を行なうことが望ましい。 路上、下部工において過年度点検の損傷箇所が補修されている。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 平成29年度補修

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	12	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	荏崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	坂井坂下 1 号橋
施設の所在地	北下条字山本 43 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.9		幅員(車道幅員)	14.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	橋台にひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装にひびわれと土砂堆積がみられることから維持工事にて除去することが望ましい。 主桁に軽微な損傷が見られることから状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和6年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	13	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	坂井坂下 2 号橋
施設の所在地	北下条字山本 2016 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	BOX	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.6		幅員(車道幅員)	20.6
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月	
	調査結果	床版に 0.3mm 以上のひびわれが多く発生しているため、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 その他、側壁や防護柵に損傷が見られることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	14	道路台帳索引番号	L-17	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	宮沢川橋
施設の所在地	駒井字西御門 441 番地先	起点からの距離		建設年度	1986
供用年度	1986	種別	鋼橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	宮沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	40.0		幅員(車道幅員)	10.3	
	施設の構造等	上部工形式	桁橋				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	起点側重力式橋台 終点側逆T式橋台			基礎型式	
橋脚工形式				海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月					
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれや段差が多く見られることから、維持工事での対応が望ましい。 支承周りに土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 その他損傷が見られるものの軽微であることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度					
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検					
	実施予定時期	令和 11 年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	15	道路台帳索引番号	L-17	施設管理者	荏崎市
路線名	市道藤井 9 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	上野跨線橋
施設の所在地	駒井字西御門 875 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1999
供用年度	1999	種別	PC 橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷	橋下条件	JR中央本線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	21.0		幅員(車道幅員)	12.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	伸縮装置に起因する漏水跡が下部工に確認されているため、早期に対処されたい。 下部工のひびわれは幅、本数ともに多いため早期に対処されたい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	16	道路台帳索引番号	L-11	施設管理者	荊崎市
路線名	市道中田 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	西町下橋
施設の所在地	中条字西町 733 番 地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	3.7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全体的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	18	道路台帳索引番号	K-9	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穴山 3 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	下木戸橋
施設の所在地	小田川字下木戸 128 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.3		幅員(車道幅員)	6.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 7 年 11 月	
	調査結果	全体的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	20	道路台帳索引番号	C-5	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	寺沢橋
施設の所在地	上円井字島崎 5 番地先	起点からの距離		建設年度	1967
供用年度	1967	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	頂版下面に幅0.1～0.2mm(主体幅0.1mm)の橋軸直角方向主体のひびわれが複数本発生している。また、側壁には幅0.3mm前後の鉛直方向のひびわれが数本発生している。本件のひびわれは、施工初期のひびわれである可能性が高いと判断する。発生しているひびわれに前回点検から目立った変化は見られないが、側壁のひびわれは幅0.3mmを超えてやや大きいため、これらは予防保全の観点から注入等により補修しておくのが望ましい。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	21	道路台帳索引番号	C-6	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	柳坪橋
施設の所在地	下円井字皿之子田 1199 番地 3 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0		幅員(車道幅員)	4.9	
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台 鉄筋コンクリート BOX			基礎型式	
	橋脚工形式				海岸からの距離	—	
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 7 年 11 月					
	調査結果	全般的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。ただし、舗装の路面の凹凸、土砂堆積は維持工事による対応が望ましい。					
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度					
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。					
	実施予定時期	令和 12 年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	22	道路台帳索引番号	C-7	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	水無橋
施設の所在地	下円井字水無 1046 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	BOX	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	連合堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.11		幅員(車道幅員)	5.0
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全般的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。ただし、舗装の土砂堆積は維持工事による対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	23	道路台帳索引番号	H-16	施設管理者	荊崎市
路線名	市道清哲 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	桐沢橋
施設の所在地	祖母石字高砂 2378 番地先	起点からの距離		建設年度	1993
供用年度	1993	種別	PC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	釜無川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	285.7		幅員(車道幅員)	9.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	擁壁式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式	鉄筋コンクリート張出式橋脚		海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全般的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。ただし、下部工の落書き、舗装の土砂堆積、排水ますの土砂詰まりは維持工事による対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	25	道路台帳索引番号	M-39	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 25 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	あけぼの橋
施設の所在地	上条南割字外御勅 使 3314 番地 249 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.9		幅員(車道幅員)	10.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全般的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。ただし、舗装と排水施設の土砂堆積は維持工事による対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	27	道路台帳索引番号	O-33	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 76 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	梅木田橋
施設の所在地	上条中割字梅木田 939 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(I 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.5		幅員(車道幅員)	8.0
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(I 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	主桁・横桁に軽微な腐食、支承に板厚減少を伴う腐食が見られ、予防保全の観点から金属溶射などの対策を行うこと望まれる。支承部の土砂詰り、伸縮装置の目地材の脱落に対しては維持工事による対応が望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	28	道路台帳索引番号	M-25	施設管理者	荏崎市
路線名	市道大草 1 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	甘利沢下橋
施設の所在地	鍋山字釜無河原 218 番地 104 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	甘利沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	86.0		幅員(車道幅員)	9.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	上部工鋼材および支承本体の腐食、橋台のひびわれ・漏水・遊離石灰、支承部台座コンクリートのひびわれは、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	29	道路台帳索引番号	O-29	施設管理者	荊崎市
路線名	市道大草 2 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	古川橋
施設の所在地	若尾字石塚 1266 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	古川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	3.8	
	施設の構造等	上部工形式	床版橋				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり	
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
		橋脚工形式			海岸からの距離	—	
施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月					
	調査結果	上流・起点側の地覆において、車両の衝突による損傷と思われる欠損がみられる。防護柵の機能にも障害があるので、早期に補修することが望ましい。					
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度					
	内容	5年に1回の定期点検を行う。定期点検					
	実施予定時期	令和12年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	30	道路台帳索引番号	O-35	施設管理者	荊崎市
路線名	市道大草 3 号線	道路種類及び区分	1 級路線	橋梁名	西割大橋
施設の所在地	下条西割字川崎 427 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	17.4		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	前回の損傷箇所において、緊急性のある損傷は、補修済みであるが、A2橋台の支承の沓座モルタルが欠損しているため、予防保全の観点から、早期に補修する必要がある。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。
- 令和3年度補修

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	31	道路台帳索引番号	O-36	施設管理者	荊崎市
路線名	市道大草3号線	道路種類及び区分	1級路線	橋梁名	前新田橋
施設の所在地	下条西割字前新田 897-2番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.0		幅員(車道幅員)	6.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全体に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	32	道路台帳索引番号	O-23	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 9 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	若宮上橋
施設の所在地	若宮一丁目 574 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他損傷が見られるが、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	33	道路台帳索引番号	X-21	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 4 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	経塚橋
施設の所在地	穂坂町大字長久保 29 番地先	起点からの距離		建設年度	1984
供用年度	1984	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	長久保沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4		幅員(車道幅員)	8.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全体に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	34	道路台帳索引番号	Y-17	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 4 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	下新居中橋
施設の所在地	上今井字梅の久保 2288 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	燕川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.5		幅員(車道幅員)	7.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全般的に損傷は軽微であるものの、河床低下による下部工の根入れ不足が懸念されるため対策が必要である。 各部材に対しては次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	35	道路台帳索引番号	O-14	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂9号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	ダラダラ橋
施設の所在地	三之蔵字アメ田 2280番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(I桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	正楽寺川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.6		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	単純 H 桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	主桁、支承の腐食については、橋梁構造の安全性の観点から早期に補修を行うことが望ましい。橋台の落石については、維持工事での対応が望ましい。防護柵の破断については、予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和6年度～令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	106.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5			100			
対策の内容・実施時期				定期点検			補修			

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	37	道路台帳索引番号	N-19	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 2 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	四枚橋
施設の所在地	北下条字榎田 1904 番地 4 先	起点からの距離		建設年度	1988
供用年度	1988	種別	PC 桁橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	27.5				幅員(車道幅員)	6.2			
	施設の構造等	上部工形式									
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月									
	調査結果	伸縮装置にゴムの変形や凹凸、漏水が確認できるため、早期に対策する必要がある。また、支承周りに土砂が堆積しているため、清掃を行うことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和9年度									
	対策費用 (百万円:概算)	1									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	
対策費用(百万円)		0.5					0.5				
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検				
備考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	38	道路台帳索引番号	L-20	施設管理者	荊崎市
路線名	市道藤井3号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	中央公園上橋
施設の所在地	南下条字滝坂 1165番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0		幅員(車道幅員)	5.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全体に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	39	道路台帳索引番号	L-16	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 5 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	駒井上野坂下 2 号橋
施設の所在地	駒井字宮ノ前 1225 番地先	起点からの距離		建設年度	1990
供用年度	1990	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.5				幅員(車道幅員)		5.2		
	施設の構造等	上部工形式	床版橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	逆T式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月									
	調査結果	全体に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。ただし、路面の凹凸に対しては維持工事による対応が望ましい。									
	健全性の診断結果	I (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和12年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	
対策費用(百万円)					0.5					0.5	
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検	
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	40	道路台帳索引番号	F-10	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 2 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	三ツ石上橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8863 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	6.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全般的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。ただし、舗装の土砂堆積は維持工事による清掃が望ましい	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)					0.5				0.5	
対策の内容・実施時期					定期点検				定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	41	道路台帳索引番号	E-10	施設管理者	荊崎市
路線名	市道円野 2 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	入戸野橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8865 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年度	1976	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	釜無川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	282.5		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	床版:木材の混入,床版張出部:鋼材の露出,主桁:定着部の異常(PC鋼材横締め)、鋼材の露出,端横桁:鋼材の露出、豆板、空洞、豆板,横桁:木材の混入,橋台:土砂堆積,防護柵:高さ不足,地覆:鋼材の露出、豆板、空洞,伸縮装置:目地材などのずれ、脱落,橋脚:木材の混入、砂すじ、空洞、落書き	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和8年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	42	道路台帳索引番号	K-31	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 1 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	山口上橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 3927 番地 5 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	主桁下面の縦方向ひびわれ、間詰からの遊離石灰は予防保全の観点からひびわれ注入工及び橋面防水など補修を行うことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	43	道路台帳索引番号	L-32	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 1 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	宮下上橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 2828 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.7		幅員(車道幅員)	9.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	床版の豆板、鉄筋の腐食は予防保全の観点から断面修復などの補修が望ましい。路面に土砂堆積がみられるため、維持工事による対応が望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	44	道路台帳索引番号	N-32	施設管理者	荊崎市
路線名	市道旭 1 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	宮下橋
施設の所在地	上条北割字宮下 3134 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.3		幅員(車道幅員)	8.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	主桁、横桁、支承本体に見られた腐食は予防保全の観点から塗装、金属溶射などの対策を行うことが望ましい。 舗装の路面の凹凸は維持工事による対応が望まれる。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	45	道路台帳索引番号	P-36	施設管理者	荊崎市
路線名	市道龍岡 3 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	町屋橋
施設の所在地	下条中割 275 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.9				幅員(車道幅員)	4.8			
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり					
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり						
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離	—					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 7 年 11 月									
	調査結果	主桁、横桁、支承本体の腐食、塗装劣化は予防保全の観点から再塗装、金属溶射などの対策を行うことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 12 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)					0.5					0.5	
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検	
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	46	道路台帳索引番号	S-37	施設管理者	荊崎市
路線名	市道龍岡 4 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	真葛橋
施設の所在地	下条南割字宮本 995 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	1972
供用年度	1972	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	24.1		幅員(車道幅員)	4.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 7 年 11 月				
	調査結果	主桁、横桁、支承、伸縮装置については予防保全の観点から補修が望ましい。 また、舗装に土砂堆積、横桁に不法占有があるので、維持管理で清掃、撤去することが望ましい。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 12 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	47	道路台帳索引番号	S-35	施設管理者	荊崎市
路線名	市道龍岡 4 号線	道路種類及び区分	2級路線	橋梁名	東村橋
施設の所在地	下条東割字長塚道 下 644 番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	4.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和7年11月	
	調査結果	全般的に損傷は軽微で、次回点検までに補修を行う必要性は低いと考える。 起点・下流側にある排水施設が土砂詰まりしているので、維持管理上、清掃する必要がある。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 12 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	48	道路台帳索引番号	L-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 26 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	一ツ谷中橋
施設の所在地	一ツ谷字海老島 1835 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	3.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和 6 年 11 月	
	調査結果	床版の広範囲に剥離・鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 その他軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	49	道路台帳索引番号	M-23	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 30 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	水神住宅橋
施設の所在地	水神二丁目 4828 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.2		幅員(車道幅員)	4.6
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	橋面下流側に鉄筋が突き出たままの状態となっている箇所があり、仮に通行者が転倒した場合、非常に危険な状態であると言えるため、撤去することが望ましい。 床版のジャンカは全体に渡っており、施工不備によるものと思われる。経過観察されたい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和４年度 ～ 令和１２年度
	内容	５年に１回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和９年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	50	道路台帳索引番号	M-23	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 36 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	韮崎 36-1 号橋
施設の所在地	水神一丁目 4809 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.0		幅員(車道幅員)	3.3
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	水路側壁および地覆に幅の大きいひびわれがみられるため、経過観察の中で損傷の進行が確認されるようであれば、早期に対策を施す必要がある。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	51	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 60 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	本町三丁目 2 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2694 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.8		幅員(車道幅員)	4.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	地覆に広範囲の鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 支承周りに土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	52	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 60 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	本町三丁目 1 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2354 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	5.0
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	舗装に段差やひびわれがあるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。 その他床版や橋台に軽微な剥離・鉄筋露出などの損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	53	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 64 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	本町三丁目 3 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2341 番地 6 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	10.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	水路側壁天端に比較的大きなひびわれがあり、状況に応じて補修する必要がある。また、水路側壁に見られる漏水は伸縮装置不備に起因しているため、状況に応じて対策を施す必要がある。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	54	道路台帳索引番号	Q-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 64 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 3 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2741 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		12.1			幅員(車道幅員)		4.5		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
			支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり			
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式					
		橋脚工形式				海岸からの距離		—			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 12 月									
	調査結果	舗装に 5mm 以上のひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 伸縮装置に路面の凹凸があるため、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	I (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。	
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	55	道路台帳索引番号	R-28	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 73 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	夏目原橋
施設の所在地	中島二丁目 3231 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.1		幅員(車道幅員)	4.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	支保全体に腐食が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 伸縮装置の目地材が脱落していることから速やかに補修を行うことが望ましい。 その他軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	56	道路台帳索引番号	Q-27	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 75 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 1 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2858 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.6				幅員(車道幅員)		3.5		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離		—				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	支承アンカーボルトにゆるみ・脱落がみられることから速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

※個々の施設毎に作成

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	57	道路台帳索引番号	Q-27	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 75 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 2 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2755 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	15.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・床版下面の下流側に生じている橋軸方向のひびわれから泥混じりの漏水が見られる。この上部の路面にも同方向のひびわれが発生しているため、下面まで貫通したひびわれに路面から水分が供給されている可能性がある。また、床版下面の上流側などにも路面からの水分供給が疑われる表面剥離等の変状が見られる。今後も床版に水が供給され続けると内部鉄筋の腐食などに繋がる恐れがあるため、本件においては、橋面防水等の止水対策を行い、橋面および下面のひびわれを補修しておくことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和8年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

個別施設整理番号	58	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 79 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	宿裏橋
施設の所在地	富士見三丁目 2477 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1973
供用年度	1973	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.6		幅員(車道幅員)	3.6
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	主桁の端部に錆が発生し、板厚の減少も見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 支承のアンカーボルトにゆるみ・脱落、傾斜が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 橋台に土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 舗装に5mm以上のひびわれや目地材の劣化が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	59	道路台帳索引番号	P-24	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 82 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	富士見上橋
施設の所在地	富士見一丁目 1162 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.6		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	PCホロー桁に遊離石灰を伴うひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装にひびわれや段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	60	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 84 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 4 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2696 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.1		幅員(車道幅員)	3.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	床版に多数のひびわれが見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 A2橋台上流側に大きな欠損があり、速やかに補修を行うことが望ましい。 その他軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	61	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 95 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	若宮中橋
施設の所在地	若宮二丁目 968 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.7		幅員(車道幅員)	5.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	防護柵(フェンス)支柱部の地覆コンクリートに欠損がみられるため、維持工事に対応する必要がある。 床版に生じている床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損、漏水・遊離石灰については経過観察を行う。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

個別施設整理番号	62	道路台帳索引番号	P-21	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 95 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	道喜橋
施設の所在地	若宮三丁目	起点からの距離		建設年度	1974
供用年度	1974	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	道喜川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.6				幅員(車道幅員)	5.7			
	施設の構造等	上部工形式	桁橋								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり					
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり						
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
橋脚工形式					海岸からの距離	—					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	PC ホロー桁に多数のひびわれや剥離・鉄筋露出が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 また、床版からの漏水・遊離石灰も多数見られることから、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。 舗装に 5mm 以上のひびわれや段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 舗装に土砂堆積が見られることから、維持工事での除去が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。								
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	63	道路台帳索引番号	P-20	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 95 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	韮崎 95-1 号橋
施設の所在地	大字南下条字下河原 101 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.7		幅員(車道幅員)	7.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和 6 年 12 月	
	調査結果	軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	64	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 97 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	振励橋
施設の所在地	若宮一丁目 554 番地 4 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.6		幅員(車道幅員)	6.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年12月	
	調査結果	防護柵のボルトナットのゆるみ・脱落が見られることから維持工事での対応が望ましい。 橋台に不法占有があるため撤去が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	65	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	荏崎市
路線名	市道荏崎 97 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	学校橋
施設の所在地	宮一丁目 621 番 地 1 先	起点からの距離		建設年度	1981
供用年度	1981	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	6.7
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年12月				
	調査結果	舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和11年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	66	道路台帳索引番号	Q-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 98 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	楯無堰 2 号橋
施設の所在地	上の山字大塚 2240 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	7.5
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	橋面に段差 25mm 程度の凹凸が確認されるため、状況を観察した中で対策を行う必要がある。 起点側水路側壁に幅の大きいひびわれがあるが、経過観察しながら損傷が進行する場合には早期に対応する必要がある。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	67	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 102 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	新地 1 号橋
施設の所在地	字岩下字八重堂 643 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	4.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 6 年 12 月	
	調査結果	舗装に段差や 5mm 以上のひびわれが多数見られることから、維持工事での対応が望ましい。また、土砂が堆積していることから維持工事にて除去することが望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	68	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 102 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	新地 2 号橋
施設の所在地	岩下字八重堂 624 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4				幅員(車道幅員)		2.9		
	施設の構造等	上部工形式									
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台				基礎型式				
	橋脚工形式					海岸からの距離		—			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月									
	調査結果	A1 橋台に洗掘が見られる。現状で基礎自体安定していると考えられるが、状況を注視し、早期に対策を施す必要がある。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。定期点検									
	実施予定時期	令和9年度									
	対策費用 (百万円:概算)	1									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	
対策費用(百万円)		0.5					0.5				
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検				
備 考											
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。											

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	69	道路台帳索引番号	Q-21	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 102 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	八重堂橋
施設の所在地	上の山字沼 2809 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.6		幅員(車道幅員)	3.1
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式		海岸からの距離	—	

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	床版には3ヶ所程度の剥離・鉄筋露出の損傷が見られるが、前回点検時と比べ錆の進行はしていないと思われる。 鉄筋の腐食進展の防止のため、状況に応じて補修を行う必要がある。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	70	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	荊崎市
路線名	市道荊崎 115 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	中島 5 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2567 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.0		幅員(車道幅員)	2.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	支承のアンカーボルトにゆるみ・脱落が見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 舗装に段差が見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	71	道路台帳索引番号	Z1-14	施設管理者	荏崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	上今井上橋
施設の所在地	上今井字中丸 1683 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.0		幅員(車道幅員)	6.0
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月				
	調査結果	A1、A2 両側に路面の凹凸が見られ、A2 側は前回点検時と比べ段差が大きくなっている。安全性を損なう可能性もあるため維持工事に対応する必要がある。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。定期点検				
	実施予定時期	令和9年度				
	対策費用 (百万円:概算)	1				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	72	道路台帳索引番号	Z2-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	唐沢上橋
施設の所在地	大字	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	唐沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式		海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	舗装の土砂堆積は維持管理の中で撤去願いたい。 地覆、床版、下部工等の損傷は軽微なため、経過観察とする。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。 定期点検
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	73	道路台帳索引番号	Z2-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	唐沢中橋
施設の所在地	大字	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	唐沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.1		幅員(車道幅員)	3.8
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式		海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	路上は土砂で埋め尽くされており、維持工事で取り除く必要がある。 地覆の損傷は軽微なため、経過観察とする。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	74	道路台帳索引番号	Z1-14	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 20 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	上組橋
施設の所在地	上今井字中丸 1893 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	燕沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.9		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	—		

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	舗装のひびわれは亀甲状を呈しており、ひび割れ幅も大きいため、状況に応じて補修が必要である。また路面の凹凸も大きいため、維持工事に対応する必要がある。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。定期点検
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	75	道路台帳索引番号	V-20	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 21 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	原橋
施設の所在地	三ツ沢字京塚 3143 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	用の沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.3		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	・上部工に目立った変状は見られず、概ね健全な状態を保っている。・各橋台の堅壁上部に生じているひびわれや鉄筋露出等の変状は、施工時のかぶり不足や締固め不足、初期ひびわれなどに起因するものと考えられる。いずれも局所的なもので比較的軽微であり、前回点検から目立った変化もないため経過観察とする。・路面の地覆脇に堆積している土砂は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給して部材劣化を助長する要因となるため、排水樹の土砂詰まりと合わせて維持工事で改善しておくことが望ましい。・両橋台の堅壁に伸縮部から伝わったと思われる	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和8年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	76	道路台帳索引番号	Q-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 42 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	権現沢下橋
施設の所在地	宮久保字上手平 4945 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式				
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設 の 状 態 等 の 概 要	点検診断日	令和4年11月	
	調査結果	地覆に生じている欠損はガードパイプの支柱部に生じており、衝撃が加わった際にガードパイプが簡単に倒れてしまう可能性がある。維持工事で対応する必要がある。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和12年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和9年度
	対策費用 (百万円:概算)	1

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	77	道路台帳索引番号	R-19	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 44 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	女夫橋
施設の所在地	宮久保字女夫石 5037 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		8.6			幅員(車道幅員)		5.5		
	施設の構造等	上部工形式	床版橋								
			鋼製(使用鋼材)		別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり		
		支承型式		別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり			
		橋台工形式	逆T式橋台			基礎型式					
橋脚工形式				海岸からの距離		—					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年12月									
	調査結果	・床版下面に初期材齢時の乾燥収縮等に起因すると推察されるひびわれが生じているが、今のところ開口幅は比較的小さく、前回点検から大きく進行した様子も見られないため経過観察とする。また、床版下面や橋台の堅壁上部などに散見する鉄筋露出は施工に由来するかぶり不足や側方などから流れてくる雨水の影響等に起因するものと考えられる。いずれも局部的かつ小規模なもので、前回点検から目立った変化もないため経過観察とするが、予防保全的な対策として水切り等の整備を事前に行っておくと橋梁の長寿命化に繋がると考えられる。・防護柵は全体に									
	健全性の診断結果	Ⅰ (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和8年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	
対策費用(百万円)						0.5					
対策の内容・実施時期						定期点検					

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	78	道路台帳索引番号	W-12	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 47 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	水源中橋
施設の所在地		起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	床版橋	型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	朝穂堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		3.9			幅員(車道幅員)		4.3																																		
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)		別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり																																		
			支承型式		別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり																																		
		橋台工形式				基礎型式																																					
		橋脚工形式				海岸からの距離		—																																			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和4年11月																																									
	調査結果	床版に損傷面積が比較的大きな損傷がある。経過観察でよいが、鉄筋が露出しているため、損傷進行が確認された場合は早急に対応する必要がある。																																									
	健全性の診断結果	I (健全)		道路橋の機能に支障が生じていない状態。																																							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和12年度																																									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。																																									
	実施予定時期	令和9年度																																									
	対策費用 (百万円:概算)	1																																									
<table border="1"> <tr> <td></td><td>令和4年</td><td>令和5年</td><td>令和6年</td><td>令和7年</td><td>令和8年</td><td>令和9年</td><td>令和10年</td><td>令和11年</td><td>令和12年</td><td></td></tr> <tr> <td>対策費用(百万円)</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>対策の内容・実施時期</td><td>定期点検</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>定期点検</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年		対策費用(百万円)	0.5					0.5					対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				
	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年																																		
対策費用(百万円)	0.5					0.5																																					
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検																																					

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	79	道路台帳索引番号	X-12	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 47 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	水源上橋
施設の所在地	柳平字唐沢 339 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		9.4			幅員(車道幅員)		4.3		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)								
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無		別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無		別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式					
橋脚工形式				海岸からの距離		—					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 6 年 11 月									
	調査結果	床版に幅 0.1～0.3mm のひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度									
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。定期点検									
	実施予定時期	令和 11 年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)				0.5					0.5		
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検		

備 考	
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。	

橋梁一覽
(個票)

個別施設整理番号	80	道路台帳索引番号	V-14	施設管理者	荊崎市
路線名	市道穂坂 51 号線	道路種類及び区分	その他路線	橋梁名	お寺橋
施設の所在地	宮久保字宮久保 5471 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年度	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年11月	
	調査結果	主桁 PC ホロー桁にひびわれが多数見られることから、速やかに補修を行うことが望ましい。 路面に軽微なひびわれが見られることから、維持工事での対応が望ましい。 その他、軽微な損傷が見られるため、状況に応じて補修を行なうことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長 寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ～ 令和 12 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 11 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。